

令和 4年 1月26日

宇都宮市教育委員会
教育長 小堀 茂雄 殿

宇都宮市議会自由民主党議員会
会長 小林 紀夫
宇都宮市議会公明党議員会
会長 金沢 力

新型コロナウイルス感染症は、世界的な猛威が収まるどころか、新たな変異種の発生により、本市においても幼児保育施設や私立小中学校などで、クラスターが発生するなど、陽性者が急拡大し増加の一途を辿っている。

そのようななか、新たな変異種であり、感染力が高いと言われているオミクロン株は、市中感染する可能性があり感染の急拡大につながっており、若年層を含め感染者が急増していることで、医療提供体制の逼迫はもとより、特に教育現場の混乱が懸念される。

現在、感染者が増加傾向にあり、第6波は過去にない急速な感染拡大を引き起こし全国各地で猛威を振るっている。ピークを出来るだけ小さくして収束に向かうためには、児童・生徒等が新型コロナウイルス感染症の予防について正しく理解し、適切な行動をとれるよう、発達段階を踏まえた指導を行うことで、これまで以上に感染対策を徹底する必要がある。

また、児童・生徒の心身の健康状態の把握や、オンライン学習等による家庭学習への対応など、これまでにない環境下での学校教育活動の実施とともに、今後、感染症対策を講じながら、児童・生徒の健やかな学びの保証との両立を図り、学校の新しい日常を定着させる必要がある。

本市においては、市民の生命や安全安心な生活を守るとの決意のもと、国・県との十分な連携と、現場の状況の迅速な把握により、後手に回らない対応や感染収束に向けて更なる対策が必要と考え、下記の項目を要望する。

- 1 県立高等学校等の入学選抜試験を控えた受験生に対して、代替措置等の更なる検討及びその公表により、本人と保護者の不安解消に努めること。
- 2 休校による学習機会の確保のため、リモート授業の積極的な活用と、教育機会の確保の対策を大至急講じること。
- 3 学校における登校時の児童・生徒の健康状態の確認など、新型コロナウイルスを持ち込まない対策の徹底に努めること。
- 4 児童・生徒等の感染経路として、家庭内感染が最多である現状を踏まえ、家庭から学校に感染を広げないよう、各家庭の理解と協力を得ること。
- 5 外部からの来校者に対する健康状態の確認と、教育活動全般を通じ適切な消毒や清掃により、環境衛生を良好に保つよう努めること。
- 6 今後とも、教育長が前面に立ち、リーダーシップを発揮し、教育委員会が一丸となり対応すること。

以上